

# 【社会科・小6・「明治の国づくりをした人たち」】①

## 本時のねらい

江戸と明治の日本橋付近の資料を基にその変化を比較し、疑問や調べたいことを考え、単元の課題を立てる活動を通して、明治初期に活躍した人々の働きや社会的変化の要因を追究する意欲をもてるようにする。

## ICT活用のポイント

- ・**タブレットの画面**で江戸時代末頃と明治時代初めの日本橋付近の様子を比較し、気付いたことや思ったことを**直接書き込む**。
- ・一人一人が表現した「本時のまとめ」「振り返り」を、ICTの即時性を生かして、**全員で共有**する。

### 【つかむ】

前時まで学習してきた江戸時代の復習テストに取り組むとともに、本時のめあてをつかむ。

### 【追究する】

一人一人が、江戸時代末頃と明治時代初めの日本橋付近の絵図等を基に、気付いたことや思ったことを考える。

グループや学級全体で明治時代初めの町の様子の変化に対する気付きについての共有や焦点化を図る。

### 【まとめる】

共有した情報(気付き)から疑問や調べたいと思ったこと話し合い、単元の課題につなげるとともに、学習の振り返りをする。

## 事例の概要

- 明治時代の学習にスムーズ入ることができるよう、前時まで学習してきた江戸時代の**復習テスト(デジタル版)**に取り組ませる。**【活用場面①】**
- 本時の位置付けが単元の課題を設定する時間であることを把握できるよう、単元の最初には何をすべきか問いかける。

<めあて>  
江戸から明治への変化について気付いたことや疑問を話し合い、単元の課題を立てよう

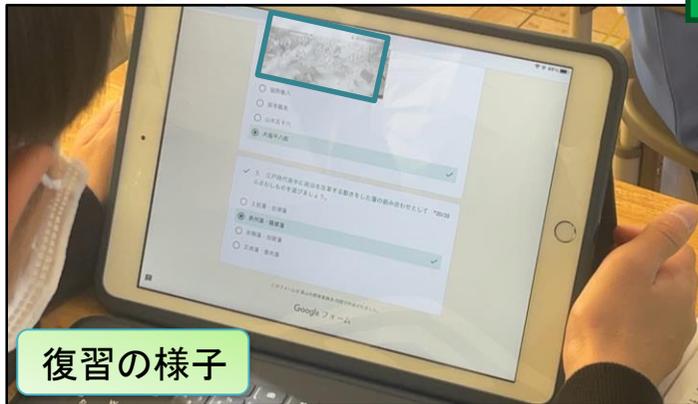
## 【事例におけるICT活用の中心場面】

- タブレットの一画面**で江戸時代末頃と明治時代初めの日本橋付近の様子を比較し、気付いたことや思ったことを**直接書き込ませる**。
- 明治時代初めの変化についての気付きをグループで共有できるよう、**タブレット画面を互いに見せ合い**、共通点や相違点を話し合うよう促す。**【活用場面②】**

- 児童が考え、表現したことを**共有ソフト**を用いて、確認し合う。  
表現すること ・本時の「まとめ」… <単元の課題> **【活用場面③】**

# 【社会科・小6・「明治の国づくりをした人たち」】②

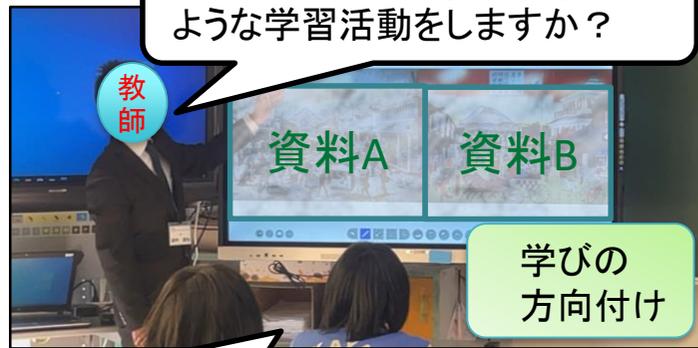
## 【ICT活用の主な場面①】



復習の様子

前単元の復習テストを行い、教員機で確認することで、全員の理解度を把握し、新しい学習に入ることができていた。

新しい単元の最初の時間はどのような学習活動をしますか？



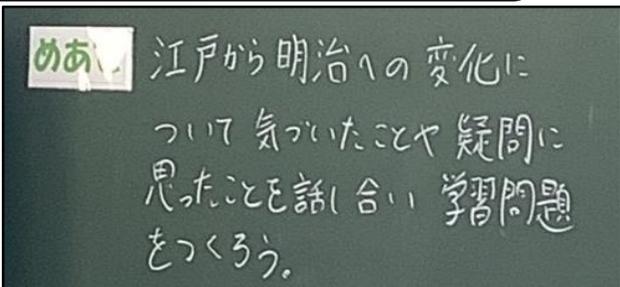
教師

資料A

資料B

学びの方向付け

単元の課題をみんなで立てます。今日から明治時代だな。



## 【ICT活用の主な場面②】

江戸時代末頃と明治時代初めの日本橋付近の様子を比較



児童

端末上に2つの資料を並べて示し、色やマークを自由に使い分けて、気付いた部分に印をしたり、文言を書き込んだりしたことで、一人一人の児童が、自分の考えを表現することができていた。

グループや学級全体で明治時代初めの町の様子の変化に対する気づきについての共有や焦点化を図る。



児童

児童

なるほど、電灯みたいなものまで道のはしにできているのは気付かなかったな。



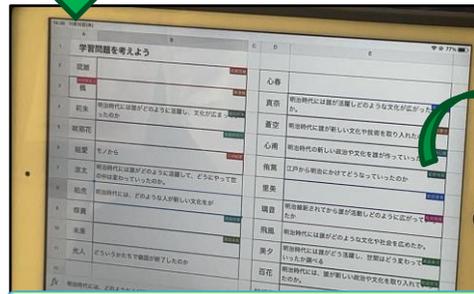
児童

教師

考えの共有

## 【ICT活用の主な場面③】

単元の課題を設定

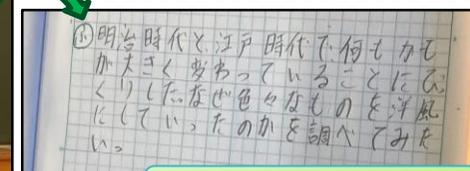


一人一人が学習問題を表現



板書で整理

単元の学習の見通し、追究意欲をもつことができていた。



振り返りのノート